注）3　増加理由：前中期目標期間繰越積立金を財源とした固定資産の取得による増加
注）4　減少理由：固定資産の除売却及び国立大学財務・経営センターへの納付予定額の計上による減少
注）5　増加理由：特定償却資産の減価償却による増加
　　減少理由：特定償却資産を除却したことによる減少
注）6　増加理由：固定資産に係る減損を認識したことによる減損損失の増加
　　減少理由：減損資産を除却したことによる減少
注）7　増加理由：資産除去債務に係る利息の増加

⑭　積立金等の明細及び目的積立金の取崩しの明細

⑭―1　積立金の明細

（単位：千円）

区　　分	期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高	摘　　要
準用通則法第44条第1項積立金	1,522,692	5,809,977	7,332,669	―	注）1
準用通則法第44条第3項積立金	176,757	―	176,757	―	注）1
前中期目標期間繰越積立金	―	4,499,122	1,969,076	2,530,045	注）1、注）2
計	1,699,449	10,309,099	9,478,503	2,530,045	

注）1　前中期目標期間最終年度の積立金の期末残高は1,522,692千円であり、これに前中期目標期間の最終年度の未処分利益5,633,220千円及び目的積立金の使用残額176,757千円を加えると、積立金は7,332,669千円となります。
　この積立金7,332,669千円のうち、今中期目標期間の業務の財源及び固定資産の見合い等として繰越の承認を受けた額は4,499,122千円であり、差し引き2,833,547千円については国庫に納付しました。
注）2　当期減少額は、当該積立金の使途に沿った資産の取得及び費用の発生によるものであります。

⑭―2　目的積立金等の取崩しの明細

（単位：千円）

区　　分		金　　額	摘　　要
目的積立金等取崩額	前中期目標期間繰越積立金	27,865	費用の発生
		―	
	計	27,865	
その他	前中期目標期間繰越積立金	1,941,210	資産等の計上
		―	
	計	1,941,210	

⑮　業務費及び一般管理費の明細

（単位：千円）

教育経費		
消耗品費	519,197	
備品費	103,482	
印刷製本費	133,626	
図書費	41,493	
水道光熱費	293,682	
旅費交通費	318,946	
賃借料	57,320	
保守費	92,551	
修繕費	136,765	
報酬・委託・手数料	358,690	
奨学費	1,116,229	
減価償却費	436,218	
雑費	49,808	
ＰＦＩ費用	53,675	
その他	166,078	3,877,769
研究経費		
消耗品費	1,991,980	
備品費	825,178	
印刷製本費	121,022	
図書費	245,540	
水道光熱費	1,044,521	
旅費交通費	1,185,967	
保守費	209,411	
修繕費	441,215	
報酬・委託・手数料	945,968	
減価償却費	3,597,498	